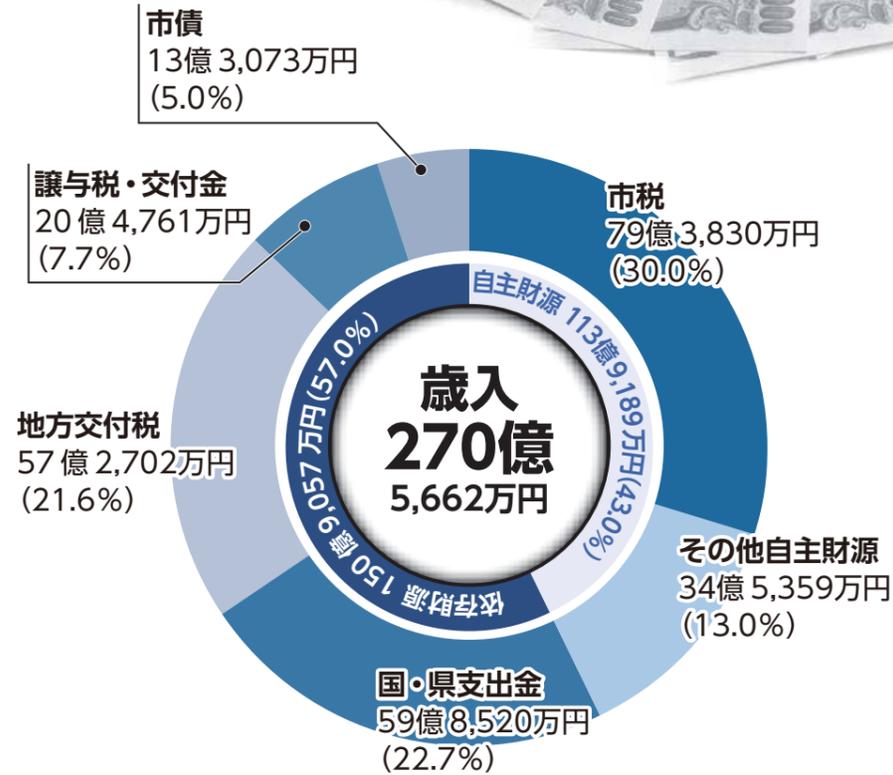


一般会計
《歳入》

収入と支出の差額は
どうするの？

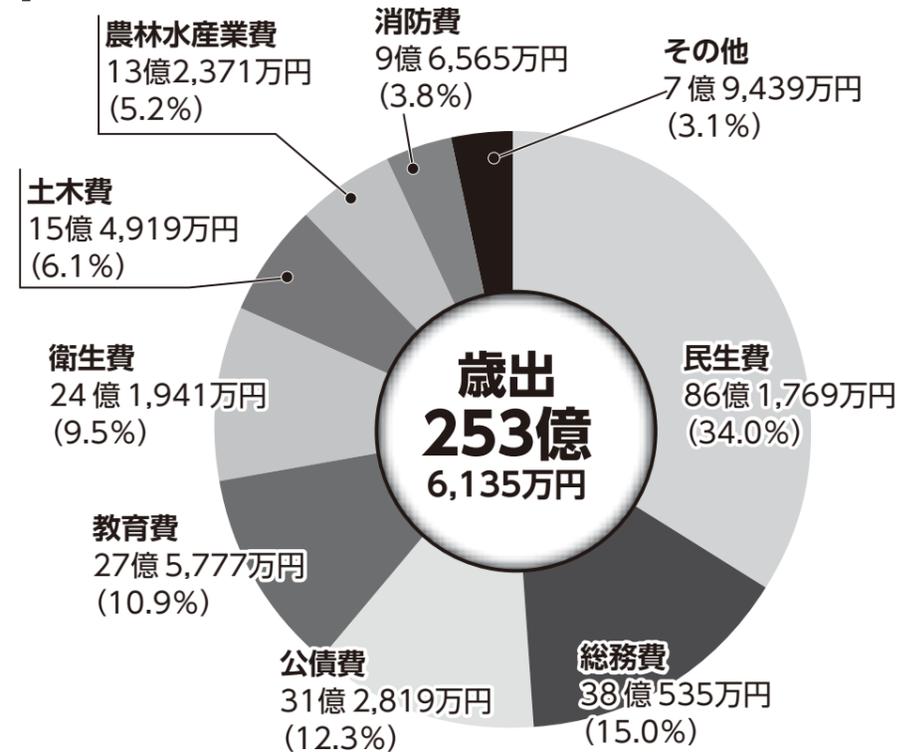
翌年度事業の財源に使われるほか差額の1/2以上は財政調整基金（自由に使える市の貯金）に積み立てられます。令和4年度末の財政調整基金残高は18億2,162万円で前年度末12億161万円から6億2,002万円ほど上積みできました。

市の決算の状況をやさしく説明した「わかりやすい決算書」を作成しました。市ホームページでご覧になれます。



《歳出》

一般会計は、福祉や教育など基本的な行政サービスを行うための会計です。



用語の説明

- 民生費**… 障害者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのために使われるお金
- 総務費**… 財産管理、統計、税金の事務などに使われるお金
- 公債費**… 市が借り入れた借金などの元利償還金
- 教育費**… 学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに使われるお金
- 衛生費**… ごみ処理、環境保全、コロナの予防接種などのために使われるお金

公営企業会計

地方公営企業法が適用される事業として区別されます。水道事業・病院事業・下水道事業を行う会計です。



企業会計名	収入	支出	
水道事業	収益的収支	22億9,462万円	21億5,581万円
	資本的収支	3億6,805万円	8億5,578万円
病院事業	収益的収支	5億4,780万円	5億4,780万円
	資本的収支	1億5,348万円	2億5,391万円
下水道事業	収益的収支	15億4,741万円	14億9,914万円
	資本的収支	6億6,788万円	12億5,386万円

※資本的収支の差は、各企業会計で留保している資金で対応しました。

特別会計

特定の収入で特定の事業を行うとき、その収入を明確にするために設置する会計です。



区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	76億446万円	75億265万円
介護保険事業	65億5,839万円	64億1,882万円
後期高齢者医療事業	9億386万円	9億225万円

市債現在高

市の借金

市債（学校や道路などの整備に国や銀行などから借りたお金）の令和4年度末現在高は、一般会計と公営企業会計の総額で395億9,310万円。地方交付税として国が負担してくれる額を除くと、市の実質的な負担は189億2,743万円で、全体の47.8%となっています。

会計名	令和4年度末現在高(1)	左のうち交付税算入見込額(2)	市の実質負担額(1)-(2)	市の実質負担割合
一般会計	249億4,664万円	156億7,900万円	92億6,764万円	37.1%
水道事業会計	50億6,152万円	1億9,872万円	48億6,280万円	96.1%
病院事業会計	4億599万円	2億5,465万円	1億5,134万円	38.7%
下水道事業会計	91億7,895万円	45億3,331万円	46億4,564万円	50.6%
合計	395億9,310万円	206億6,568万円	189億2,742万円	47.8%

健全化判断比率

5つの比率で財政の健全度を判断

数値は基準を下回っていますが、県内54市町村の中で、実質公債費比率は最下位、将来負担比率は50位です。改善の兆しはあるものの厳しい財政状況が続いています。

▶公営企業はいつでも資金不足は生じず、資金不足比率は生じませんでした。

指標	銚子市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.79%	20.0%
▶一般会計の赤字割合	—	12.79%	20.0%
連結実質赤字比率	—	17.79%	30.0%
▶市の全ての会計の赤字割合	—	17.79%	30.0%
実質公債費比率	12.2%	25.0%	35.0%
▶借金の返済がどれ位負担になっているか	12.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	67.8%	350.0%	—
▶将来世代にツケを先延ばししていないか	67.8%	350.0%	—